

令和3年度  
第2期宮古市まち・ひと・しごと創生総合戦略  
評価及び検証  
(令和2年度実績)

令和4年3月  
宮古市

## 目 次

I 趣旨	.....	3
II 第2期宮古市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況に対する評価	...	3
1 令和2年度実績評価総括表	.....	4
2 数値目標・重要業績評価指標(KPI)一覧	.....	5
3 基本目標別の評価及び検証		
■ まち	.....	8
■ ひと	.....	14
■ しごと	.....	20

## I 趣旨

国は少子高齢化に対応し、人口減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への人口集中を是正し、それぞれの地域で住みよい環境を確保して、活力ある社会を維持するための方策について、基本理念、国等の責務、計画の策定等を定めた「まち・ひと・しごと創生法」を平成26年に制定しました。

これを受け本市においても「宮古市まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下「第1期総合戦略」という。）」を平成28年2月に策定し、各施策に取り組んでまいりました。令和2年3月には、宮古市総合計画の基本計画の中に包括する形で第2期総合戦略を策定しました。

総合戦略については、PDCAサイクルの考え方に基づき検証を行い推進することとしています。宮古市まち・ひと・しごと創生総合戦略市民推進委員の皆様、宮古市議会議員の皆様から意見提言等を頂戴しながら評価及び検証を実施し、必要に応じて事業等の見直しを行うこととしております。

## II 第2期宮古市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況に対する評価

第2期総合戦略の基本目標（数値目標）及び重要業績評価指標（KPI）の実績に対する評価方法は、以下のとおりです。

なお、実績値について、統計の公表時期などの関係で把握できないものは直近の数値としました。

### ■進捗度による評価

- ・策定時の現状値を0%、R6目標値を100%とする。
- ・第2期総合戦略では、R2年度からR6年度の5か年で目標達成を目指すことから、R2年度の進捗度の目安は、20%とする。（考え方：100%/R2～R6の5か年）

<年度毎の進捗度目安>

R2年度	20%
R3年度	40%
R4年度	60%
R5年度	80%
R6年度	100%

### ■進捗度算出の計算式

$$(R2実績値 - 策定時の現状値) / (R6目標値 - 策定時の現状値) \times 100$$

### ■評価の表示（進捗度をABCDで表示）

- A・・・ 目標達成
- B・・・ 進捗度20%以上100%未満
- C・・・ 進捗度0%以上20%未満
- D・・・ 進捗度0%未満(マイナス値)

## 1 令和2年度実績評価総括表

基本目標	評価					合計数
	A	B	C	D	評価困難	
<b>■まち</b> 「地域の魅力向上を図り、より快適で豊かに暮らせる環境をつくる」	0	3	2	6	0	11
<b>■ひと</b> 「子どもを産み育てやすい環境をつくり、結婚・出産・子育ての希望をかなえる」	1	0	2	5	0	8
<b>■しごと</b> 「地域に根差した産業を振興し、生活を支える所得が得られる仕事を創出する」	0	1	2	6	3	12
合計	1	4	6	17	3	31

### 【評価の解説】

・計画期間が5か年であることから、R2年度の進捗率の目安を20%とする。(100%/5か年)

A・・・目標達成    B・・・20%以上100%未満    C・・・0%以上20%未満    D・・・0%未満(マイナス値)

## 2 数値目標・重要業績評価指標 (KPI) 一覧

### ■まち

基本目標	数値目標	策定時(H30)	R2実績	進捗率	評価	目標(R6)
地域の魅力向上を図り、より快適で豊かに暮らせる環境をつくる	社会減数(人)	△ 606	△ 622	△ 2.6%	D	0
	定住意向割合(%)	73.7 895/1185(人)	75.7 500/660(人)	31.7%	B	80.0

#### (1)住み続けたいまちづくり戦略

具体的な施策	KPI	策定時(H30)	R2実績	進捗率	評価	目標(R6)
①安全で快適に暮らせる生活基盤の確保	基盤整備に対する市民満足度(点)	42.2	45.3	17.4%	C	60.0
	福祉・健康に対する市民満足度(点)	43.6	45.7	12.8%	C	60.0
②まちの中心のにぎわい創出	市が関わった中心市街地への新規創業者数(件)	2	8	46.2%	B	15
	中心市街地での歩行者交通量(未広町線)(人)	休日 492 平日 597	休日 258 平日 501	△ 177.3% △ 67.6%	D D	休日 624 平日 739

#### (2)ひとつつながるまちの魅力発信戦略

具体的な施策	KPI	策定時(H30)	R2実績	進捗率	評価	目標(R6)
①森・川・海の魅力を活かした観光の振興	観光入込客数(年間)(万人)	143	112	△ 442.9%	D	150
	市内宿泊者数(年間)(万人)	28	17	△ 550.0%	D	30
②住めばみやこ住むなら宮古の推進	宮古市に關係する移住・定住イベントや支援策により移住した人数(累計:人)	1	9	27.6%	B	30
	移住定住相談会参加者数(年間:人) 【宮古市ブース来訪者】	13	4	△ 52.9%	D	30

## 2 数値目標・重要業績評価指標 (KPI) 一覧

### ■ひと

基本目標	数値目標	策定時(H30)	R2実績	進捗率	評価	目標(R6)
子どもを産み育てやすい環境をつくり、結婚・出産・子育ての希望をかなえる	25-39歳人口の未婚率(%)	(H27国勢調査) 42	(R2国勢調査) 45	△ 160.0%	D	37
	子育て環境の満足度(点)	45.1	46.2	7.4%	C	60.0

#### (1)結婚・出産・子育ての希望をかなえる戦略

具体的な施策	KPI	策定時(H30)	R2実績	進捗率	評価	目標(R6)
①出会い・結婚・出産・子育て支援の展開	25-39歳までの女性人口(各年10月1日住民基本台帳人口)(人)	(H29) 3,386	(R1) 3,016	目標△186に対し、△370	D	(R5) 3,200
	合計特殊出生率(%)	(H29) 1.62	(R1) 1.55	△ 58.3%	D	(R5) 1.74
	【上段 岩手県保健統計(注1)】 【下段 参考値:厚労省統計(注2)】 注1:毎年公表 注2:5年毎に公表	(H20~H24(H26)) 1.58	(H25~H29(H31)) 1.59	-	-	-
②働きながら子育てしやすいまちづくり	待機児童数(各年3月現在)(人)	2	0	100.0%	A	0
	仕事や地域活動などでの女性の活動のしやすさの市民満足度(10~40代平均)(点)	47.1	46.3	△ 6.2%	D	60.0

#### (2)郷土を愛し、拓く人づくり戦略

具体的な施策	KPI	策定時(H30)	R2実績	進捗率	評価	目標(R6)
①未来へつなぐひとづくりの推進	生涯学習環境に対する市民満足度(10~40代平均)(点)	47.8	50.1	18.9%	C	60.0
	高校2年生の宮古市への愛着度(%)	(R1) 43.0 166/386(人)	(R2) 42.7 141/330(人)	△ 1.8%	D	60.0

## 2 数値目標・重要業績評価指標 (KPI) 一覧

### ■しごと

基本目標	数値目標	策定時(H30)	R2実績	進捗率	評価	目標(R6)
地域に根差した産業を振興し、生活を支える所得が得られる仕事を創出する	市民一人当たりの分配所得(万円)	(H29) 市 277 県 277 国 319 国の値に対する比率 86.8%	(H30) 市 274 県 284 国 320 国の値に対する比率 85.6%	△ 9.2%	D	国民所得
	高校新卒者のうち就職希望者の管内就職率(%)	44.0 93/210(人)	48.9 86/176(人)	18.8%	C	70.0

#### (1)本州最東端から国内外に向けた産業振興戦略

具体的な施策	KPI	策定時(H30)	R2実績	進捗率	評価	目標(R6)
①強い水産業の推進	魚市場水揚額(年間)(百万円)	6,452	4,888	△ 81.1%	D	8,380
	魚市場水揚量(年間)(t)	23,540	21,683	△ 11.9%	D	39,100
	1経営体あたりの漁業生産額(百万円)	7.9 5,469/696体	(次回は、 R6年度に公表)	—	現時点で 評価困難	8.7 6,071/696体
②異業種連携による売れる商品づくりの推進	製造業総生産額(年間)(百万円)	18,900	18,000	△ 81.8%	D	20,000
	市が支援する商品等の新規成約件数(年間)(件) ※加工品コンクール等の商品とする	4	コロナ禍により 実施なし	—	現時点で 評価困難	5

#### (2)すべての人が活躍できる産業戦略

具体的な施策	KPI	策定時(H30)	R2実績	進捗率	評価	目標(R6)
①地域の特色を活かし稼げる産業の実現	従業者1人当たりの売上金額(百万円)	(H28) 15.3 91,165/5,965人	(次回は、 R5年度に公表)	—	現時点で 評価困難	16.2
	再生可能エネルギー導入容量(年間)(kw)	22,616	79,032	25.5%	B	244,000
②人材の確保・育成支援	一次産業新規就業者(累計)(人)	8	18	19.2%	C	60
		【内訳】				
		(農業) 2	4	15.4%		15
		(林業) 1	3	14.3%		15
		(水産業) 5	11	24.0%		30
	宮古公共職業安定所における就職率(年間)(%)	51.1 2,183/4,275件	45.5 1,694/3,727件	△ 62.9%	D	60.0
	就業者数(雇用保険被保険者数)(年間)(人)	18,622	18,074	△ 96.0%	D	18,600

## 基本目標：【まち】

地域の魅力向上を図り、より快適で豊かに暮らせる環境をつくる

### 基本目標に対する評価

数値目標	策定時 (H30)	R2実績	進捗度	評価	目標 (R6)
社会減数 (人)	△ 606	△ 622	△ 2.6%	D	0
定住意向割合 (%)	73.7 895/1185 (人)	75.7 500/660 (人)	31.7%	B	80.0

※ 社会減とは、地域の人口が、他地域からの転入、あるいは他地域への転出によって生じる増減のうち、減少を指す。  
 評価： A・・・目標達成 B・・・20%以上100%未満 C・・・0%以上20%未満 D・・・0%未満(マイナス値)

### 分析

数値目標である社会減数の抑制には至っていないが、定住意向割合は増加となった。

基盤整備(交通ネットワークの整備や防災体制等)は順調に進んでおり、それに併せて「基盤整備に対する市民満足度」も上昇した。福祉・健康に係る取り組みについては、コロナ禍の影響を受け、進捗が滞ったものがみられたが、「福祉・健康に対する市民満足度」は上昇した。取り組みに制限がある中で満足度が上昇したことから、市民に対する各種取り組みの認知度の向上が満足度の上昇に繋がったと推察される。

また、観光及び移住関連の取り組みは、コロナ禍の影響を大きく受けた。県境を越えた移動に制限がある中、都市部住民等はインターネット上の情報を収集する、通信販売により地方の物産を取り寄せるなどの行動変容が起きている。この状況下において、観光文化交流協会や市の移住者向けHPのコンテンツの充実を図ったことで、アクセス数を大幅に増加させることができた。

これらを踏まえ、今後は、当市の取り組みや観光等の情報を市内外に発信していくことが必要であるとする。

#### 【市民推進委員会からの意見】

・数値の減少理由が、本当にコロナだけなのかより深く見極める必要がある。

### (1) 住み続けたいまちづくり戦略

#### ①安全で快適に暮らせる生活基盤の確保

KPI	策定時 (H30)	R2実績	進捗度	評価	目標 (R6)
基盤整備に対する市民満足度 (点)	42.2	45.3	17.4%	C	60.0
福祉・健康に対する市民満足度 (点)	43.6	45.7	12.8%	C	60.0

評価： A・・・目標達成 B・・・20%以上100%未満 C・・・0%以上20%未満 D・・・0%未満(マイナス値)

#### ◎ 関連基本事業の進捗状況

基盤整備に関する基本事業							
基本事業	指標名	R元	R2	R3	R4	R5	R6
a) 鉄道の確保・充実と利用促進	三陸鉄道の市民1人当たりの年間利用回数	目標値 2.5	2.8	3.2	3.5	3.9	4.2
		実績値 3.0	3.8				
	JR山田線の市民1人当たりの年間利用回数	目標値 1.6	1.6	1.7	1.7	1.8	1.8
		実績値 0.9	0.6				
【取組内容と評価】 三陸鉄道及びJR山田線の支援、施設整備、沿線市町村や地域住民と連携した利用促進を実施。コロナ禍の影響により利用者が低迷しているものの、三陸鉄道の利用回数は目標値を上回った。							
【議会からの意見】 ・三鉄については、実績値がすでにR3の目標値を上回っているため、指標の設定が低いと感じる。実績をもとに上方修正してもよいのではないかと。 ・JR山田線の実績について、同じコロナ禍での三鉄との対比で、JRだけが未達成となったことを、しっかり評価・分析しなければならない。(定時運行、ダイヤ編成など) ・鉄道利用に対するコロナ禍の影響はあったと思うが、それ以前から鉄道利用は低調だったので、コロナの影響を加味しない根本的な評価や分析も必要だと考える。							



b) 路線バスの確保・充実と利用促進	路線バスの市民1人当たりの年間利用回数	目標値	17.6	17.9	18.1	18.4	18.7	20.2
		実績値	17.5	13.3				
	【取組内容と評価】 運行経費への助成や路線ルートの見直しなどを行うと共に、バス事業者等と連携した利用促進を実施。コロナ禍の影響により利用者の低迷がみられる。							
【議会からの意見】 ・路線ルートの見直しの評価・分析をより具体的に行うべき。								
c) 新たな公共交通手法の活用	新たな公共交通手法を活用した地域数	目標値	1.0	2.0	3.0	4.0	4.0	4.0
		実績値	1.0	2.0				
	【取組内容と評価】 公共交通を利用しにくい地域について、地域住民のニーズに合わせ、コミュニティバスの導入など新たな公共交通手法の活用を実施。計画通り活用地域数が増加している。							
【議会からの意見】 ・令和6年度に活用地域数4を目標としているが、具体的な場所がわからないのでイメージがつかみにくい。今後増加を予定する地域についても言及があるとよい。 ・公共交通網形成計画に反映されていない区域についても検証が必要である。								
d) 防災体制の整備	避難誘導標識整備率(%)	目標値	90	95	95	96	97	100
		実績値	91.67	99.36				
	情報発信ツールの充実(種類)	目標値	8	9	10	10	10	10
		実績値	9	10				
【取組内容と評価】 的確で円滑な避難誘導を行うための標識整備や、市民に対する迅速かつ正確な情報提供のため、SNS等の活用など情報発信手段を拡充。整備は目標値を上回るペースで進んでいる。								
e) 防災・減災教育の推進、地域防災力向上	自主防災組織のカバー率(%)	目標値	56.0	62.0	68.0	74.0	80.0	86.9
		実績値	51.5	50.2				
	防災士の人数(人)	目標値	331	365	415	445	475	500
		実績値	331	393				
	【取組内容と評価】 災害時において地域で活動する自主防災組織及び防災士の増加について取り組んでいる。自主防災組織については、目標値を下回っており、引き続き地域への働きかけが必要。防災士については、目標値を大きく上回った。							
【議会からの意見】 ・現在、自主防災組織をはじめとする町内活動は、高齢者が中心となっているが、実績値を高めるための「働きかけ」についてより詳しい分析が必要。自主防災組織と防災士を連携させることによって、なにか実績を上げる取り組みができないか。								

福祉・健康に関する基本事業							
基本事業	指標名	R元	R2	R3	R4	R5	R6
a) 医療体制の充実	全直営診療所の年間稼働率(%)	目標値	100	100	100	100	100
		実績値	100	100			
【取組内容と評価】 市民が安心して医療を受けられる場を確保するため、国保診療所(田老・新里・川井)を運営。目標値である年間稼働率100%維持している。							

b) 福祉ネットワークづくりの推進	住民同士のつながりが広がる場や機会や身近にある環境に対する市民の満足度	目標値	—	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0
		実績値	—	43.8				
【取組内容と評価】 避難行動要支援者への支援など、様々な福祉課題の解決につなげるため、地域活動の推進している。目標値には達していないことから、地域住民、町内自治組織、学校等のネットワークの構築を図るなど、住民同士のつながりの創出を目指した取り組みが必要。								
c) 自立した暮らしを継続する支援	介護予防教室参加者数（人）	目標値	1,950	2,050	1,900	2,000	2,100	2,100
		実績値	2,009	586				
【取組内容と評価】 今まで参加者数が順調に伸びていたが、令和2年度はコロナ禍の影響により事業中止や一時停止を余儀なくされ、目標を大きく下回った。今後は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を注視しながら、参加者の増加を図ることが必要。								
d) 子育て支援体制の充実	子育て支援拠点事業年間利用組数（組）	目標値	9,500	9,500	9,500	10,000	10,000	10,000
		実績値	9,272	3,943				
	ファミリーサポートセンター依頼会員数（人）	目標値	400	360	360	360	360	360
		実績値	363	348				
【取組内容と評価】 子育て家庭向けの相談支援体制の充実を目指し、子育て支援センターなどの拠点を運営。コロナ禍の影響により支援拠点の利用者が大幅に減った。一方、ファミリーサポートセンターの依頼会員数は、微減に留まった。コロナ禍においても子育て家庭を支援できるサービスであったこと、ニーズに合った支援サービスであることなどが伺える。今後も支援体制の継続が必要。								

## ②まちの中心のにぎわい創出

KPI	策定時（H30）	R2実績	進捗度	評価	目標（R6）
市が関わった中心市街地への新規創業者数（件）	2	8	46.2%	B	15
中心市街地での歩行者交通量（未広町線）（人）	休日 492	休日 258	△ 177.3%	D	休日 624
	平日 597	平日 501	△ 67.6%	D	平日 739

評価： A・・・目標達成 B・・・20%以上100%未満 C・・・0%以上20%未満 D・・・0%未満（マイナス値）

## ◎関連基本事業に対する評価

中心市街地に関する基本事業								
基本事業	指標名	R元	R2	R3	R4	R5	R6	
a) 市道末広町線無電柱化の整備	整備計画に対する整備率（%）	目標値	0.0	25.0	50.0	75.0	100.0	
		実績値	—	6.3				
【取組内容と評価】 R2年度に着手したものの、想定以上の障害物があり、目標値には届かなかった。今後、R5年度の事業完了に向け、進捗速度を早めることが必要。								
b) 宮古市役所庁舎跡地の整備	宮古市役所庁舎跡地の整備	目標値	35.0	100.0				
		実績値	35.0	80.0				
	基盤整備に対する市民満足度（点）	目標値	—	42.2	42.2	42.2	42.2	60.0
		実績値	—	45.3				
【取組内容と評価】 庁舎跡地については、当初R2年度に整備予定であったがR3年度に繰越して整備。令和3年7月31日にうみどり公園として開園した。完成した公園の利用者の増加と、今後の末広町の無電柱化整備により、子育て世代等の満足度の向上が期待される。								

c) 魅力ある商業活動の推進	商工会議所会員数 (卸・小売・サービス業) (人)	目標値	750	750	750	750	750	750	
		実績値	731	760					
	中心市街地への 新規創業者数 (件)	目標値	15	15	15	15	15	15	
		実績値	5	8					
	【取組内容と評価】								
	事業所の経営支援を目的に、商工会議所による経営指導等を実施。また、新規創業者に対する情報提供と創業支援も実施。会議所の会員数は増加したものの、新規創業者は目標値に届かなかった。								

(2) ひとつつながるまちの魅力発信戦略

①森・川・海の魅力を活かした観光の振興

KPI	策定時 (H30)	R2実績	進捗度	評価	目標 (R6)
観光入込客数 (年間) (万人)	143	112	△ 442.9%	D	150
市内宿泊者数 (年間) (万人)	28	17	△ 550.0%	D	30

評価： A・・・目標達成 B・・・20%以上100%未満 C・・・0%以上20%未満 D・・・0%未満 (マイナス値)

◎関連基本事業に対する評価

観光に関する基本事業								
基本事業	指標名	R元	R2	R3	R4	R5	R6	
a) 受入体制の整備	来訪者満足度 (%)	目標値	75.0	75.0	75.0	75.0	75.0	
		実績値	80.1	71.0				
【取組内容と評価】 浄土ヶ浜地区の環境保全や学ぶ防災、観光関連施設の利用促進等を実施。R2年度は、目標値を下回った。コロナ禍で外出等の自粛が求められたことから、満足度が下がったものと思われる。								
b) 地域観光資源の活用	浄土ヶ浜入込数 (万人)	目標値	69.7	71.1	71.8	72.5	73.9	73.9
		実績値	107.6	52.4				
【取組内容と評価】 観光客誘致を目的とするイベント等の開催支援や、三陸ジオパークのみちのく潮風トレイルコースなどを活用した体験型観光プログラムに開発及び周知等を実施。R2年度は、コロナ禍の影響があり、大きく入込数が減少した。								
c) 情報の発信	宮古観光文化交流協会HPアクセス数 (件)	目標値	74,598	78,700	82,600	86,800	91,000	95,000
		実績値	164,341	552,896				
【取組内容と評価】 観光文化交流協会のHPに「瓶ドン」を始めとしたコンテンツを掲載。SNS等も連携。R2年度は、コロナによる来訪者の減少を見越して、「瓶ドン」の通信販売を開始。全国放送のテレビ番組等でも取り上げられたことや、「みやこ宿泊割」の実施により大きく閲覧数が増加した。								
d) 災害教訓の伝承・情報発信	学ぶ防災来訪者数 (人)	目標値	18,894	19,082	19,272	19,461	19,650	19,839
		実績値	20,625	7,670				
【取組内容と評価】 津波遺構たろう観光ホテルを活用し、「学ぶ防災」の取組を実施。R2年度は、コロナ禍の影響により訪問者が大きく減少した。								
e) 港湾の活用	誘致企業数 (件)	目標値	1	1	1	1	1	1
		実績値	0	0				
	客船寄港回数 (回)	目標値	5	8	6	6	8	8
		実績値	5	0				
【取組内容と評価】 港湾利用の促進と企業の立地に向けた企業訪問を実施したとともに、「いわてポートフォーラム」において藤原ふ頭工業用地のPRを実施。R2年度はコロナ禍の影響により多くの企業を訪問することができず、また県内企業が中心の訪問となった。今後は、道路網の整備によりアクセスと利便性が向上したことをセールスポイントに、庁内関係部署で連携して情報収集と企業訪問等を実施する。								

②住めばみやこ住むなら宮古の推進

KPI	策定時 (H30)	R2実績	進捗度	評価	目標 (R6)
宮古市に関する移住・定住イベントや支援策により移住した人数 (累計:人)	1	9	27.6%	B	30
移住定住相談会参加者数 (年間:人) 【宮古市ブース来訪者】	13	4	△ 52.9%	D	30

評価: A・・・目標達成 B・・・20%以上100%未満 C・・・0%以上20%未満 D・・・0%未満 (マイナス値)

◎関連基本事業に対する評価

移住・定住に関する基本事業									
基本事業	指標名	R元	R2	R3	R4	R5	R6		
a) サーモンランドの魅力発信	移住者向けホームページアクセス数 (年間) (件)	目標値	-	10,000	20,000	30,000	40,000	50,000	
		実績値	5,704	18,065					
		【取組内容と評価】 移住者向けのページやSNS等により、宮古市の情報を発信。R2年度にホームページを全面をリニューアルしたことから、アクセス数が大幅に増加し、目標を達成した。今後は、アクセス数の維持に向け、コンテンツの更新頻度をあげることが必要。							
b) 移住者増加の促進	移住定住相談会宮古市ブース来訪者数 (人)	目標値	-	30	30	30	30	30	
		実績値	55	4					
	移住定住相談会全体参加者数 (人)	目標値	-	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	
		実績値	1,636	-					
			【取組内容と評価】 移住相談会の開催や他団体の移住関連イベントへの出展を実施。R2年度は、コロナ禍の影響により各種移住関連イベントが中止及びオンラインになったことから、いずれも目標の達成には至らなかった。全体参加者数は、オンライン開催だったためカウントができなかった。今後は、集客力向上のため、広域エリアで連携した移住イベントの開催及び参加が必要。						
			【議会からの意見】 ・オンラインで参加者をカウントできなかったとあるが、把握の方法はないか。コロナの状況次第では今後もオンラインを中心とした事業構成は考えられるのだから、オンラインでの把握の手段を講じるか、より有効な別の指標を検討するべきである。  ・指標の対象が「ブース来訪者」「相談会参加者」と、イベントのみである。イベント以外の方法による移住者の獲得、例えば担い手事業と移住者の関係などを評価・検証するべきと考える。  ・事業構成として、テレワーク、ワーケーション、サテライトオフィスなど、外部者向けの事業を検討してはどうか。						

## 基本目標：【ひと】

子どもを産み育てやすい環境をつくり、結婚・出産・子育ての希望をかなえる

### 基本目標に対する評価

数値目標	策定時 (H30)	R2実績	進捗度	評価	目標 (R6)
25-39歳人口の未婚率 (%)	(H27国勢調査) 42	(R2国勢調査) 45	△ 160.0%	D	37
子育て環境の満足度 (点)	45.1	46.2	7.4%	C	60.0

評価： A・・・目標達成 B・・・20%以上100%未満 C・・・0%以上20%未満 D・・・0%未満 (マックス値)

### 分析

「子育て環境の満足度」は、コロナ禍の影響を受けながらも上昇した。待機児童はゼロを維持し、コロナ禍においても安定した利用実績となった子育て支援サービスもあった。このことから、子育て支援の取り組み及びその情報の周知が子育て環境の満足度向上に繋がったと推察する。引き続き子育て支援の取り組みと情報発信を行う必要がある。

なお、「10～40代の生涯学習環境に対する市民満足度」は、上昇している一方で、「仕事や地域活動などでの女性の活動のしやすさの市民満足度」と、「25～39歳までの女性人口」は減少した。このことから、子育て支援や生涯学習環境の充実と地域内での女性の満足度は連動しないことが分かる。したがって、子育て支援とは別に、女性が望むライフスタイルを実現できるような取り組みが必要である。

また、「高校2年生の宮古市への愛着度」も減少した。R2年度より市内の高校と連携し、生徒が地域を知る取り組みを始めている。小中学校においても、地域住民等と連携し、地域の伝統や歴史、災害に対する学びなどの学習を行っている。子どもの愛着度を向上させるためには、長期的かつ継続的な取り組みが必要である。したがって、引き続き学校、地域住民、地元企業、行政等が協力しながら、小中高それぞれの課程において、より積極的に働きかけを行っていく必要があると考える。

#### 【議会からの意見】

・25-39歳人口の未婚率を下げるとの分析をするべきである。

#### 【市民推進委員会からの意見】

・「ひと」の定着が課題であると思われる。

### (1) 結婚・出産・子育ての希望をかなえる戦略

#### ① 出会い・結婚・出産・子育て支援の展開

KPI	策定時 (H30)	R2実績	進捗度	評価	目標 (R6)
25-39歳までの女性人口 (各年10月1日住民基本台帳人口) (人)	(H29) 3,386	(R1) 3,016	目標△186に対し、△370	D	(R5) 3,200
合計特殊出生率 (%)	(H29) 1.62	(R1) 1.55	△ 58.3%	D	(R5) 1.74
【上段 岩手県保健統計 (注1)】 【下段 参考値：厚労省統計 (注2)】	(H20～H24 (H26)) 1.58	(H25～H29 (H31)) 1.59	—	—	【参考値】

注1：毎年公表 注2：5年毎に公表

評価： A・・・目標達成 B・・・20%以上100%未満 C・・・0%以上20%未満 D・・・0%未満 (マックス値)

◎関連基本事業に対する評価

人口に関する基本事業								
基本事業	指標名	R元	R2	R3	R4	R5	R6	
a) 魅力ある商業活動の推進【再掲】	商工会議所会員数 (卸・小売・サービス業) (人)	目標値	750	750	750	750	750	
		実績値	731	760				
	中心市街地への新規創業者数 (件)	目標値	15	15	15	15	15	15
		実績値	5	8				
	【取組内容と評価】 事業所の経営支援を目的に、商工会議所による経営指導等を実施。また、新規創業者に対する情報提供と創業支援も実施。会議所の会員数は増加したものの、新規創業者は目標値に届かなかった。							
	b) 雇用の促進	補助金・奨励金 交付対象者数 (人)	目標値	80	80	80	80	80
実績値			66	63				
事業委託先における利用者数 (人)		目標値	550	550	550	550	550	550
		実績値	554	456				
【取組内容と評価】 地元での安定的な就業を促進するため補助金・奨励金を交付。宮古職業訓練協会と宮古市シルバー人材センターを支援。目標値はいずれも達成しなかったことから、ニーズに応じたサービス内容等の充実や周知が必要と思われる。今後は、新規高卒者の地元就職やU・Iターン者の増加への取り組みも必要。								
b) 移住者増加の促進【再掲】		移住定住相談会 宮古市ブース来訪者数 (人)	目標値	-	30	30	30	30
	実績値		55	4				
	移住定住相談会 全体参加者数 (人)	目標値	-	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
		実績値	1,636	-				
	【取組内容と評価】 移住相談会の開催や他団体の移住関連イベントへの出展を実施。R2年度は、コロナ禍の影響により各種移住関連イベントが中止及びオンラインになったことから、いずれも目標の達成には至らなかった。全体参加者数は、オンライン開催だったためカウントができなかった。今後は、集客力向上のため、広域エリアで連携した移住イベントの開催及び参加が必要。							

出生数に関する基本事業								
基本事業	指標名	R元	R2	R3	R4	R5	R6	
a) 母子の健康づくりの推進	11週以下での妊娠届出率 (%)	目標値	93.0	95.0	97.0	100.0	100.0	
		実績値	93.2	94.6				
	3歳児健康診査受診率 (%)	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
		実績値	96.8	99.1				
	【取組内容と評価】 適切な妊婦の健康管理や3歳児の発育・発達の確認、疾病の早期発見のために必要な健康診査等に繋げるため、市HP等による周知や医療機関等と連携を実施。目標値はいずれも下回ったものの、年々増加傾向にあることから、引き続き取り組む必要がある。							

d) 子育て支援体制の充実【再掲】	子育て支援拠点 事業年間利用組 数(組)	目標値	9,500	9,500	9,500	10,000	10,000	10,000	
		実績値	9,272	3,943					
	ファミリーサ ポートセンター 依頼会員数 (人)	目標値	400	360	360	360	360	360	
		実績値	363	348					
	【取組内容と評価】								
	<p>子育て家庭向けの相談支援体制の充実を目指し、子育て支援センターなどの拠点を運営。コロナ禍の影響により支援拠点の利用者が大幅に減った。一方、ファミリーサポートセンターの依頼会員数は、微減に留まった。コロナ禍においても子育て家庭を支援できるサービスであったこと、ニーズに合った支援サービスであることなどが伺える。今後も支援体制の継続が必要。</p>								



②働きながら子育てしやすいまちづくり

KPI	策定時 (H30)	R2実績	進捗度	評価	目標 (R6)
待機児童数 (各年3月現在) (人)	2	0	100.0%	A	0
仕事や地域活動などでの女性の活動のしやすさの市民満足度 (10~40代平均) (点)	47.1	46.3	△ 6.2%	D	60.0

評価： A・・・目標達成 B・・・20%以上100%未満 C・・・0%以上20%未満 D・・・0%未満 (マイナス値)

◎関連基本事業に対する評価

待機児童に関する基本事業								
基本事業	指標名	R元	R2	R3	R4	R5	R6	
a) 保育サービスの充実	待機児童数 (各年3月現在) (人)	目標値	0	0	0	0	0	0
		実績値	0	0				
	【取組内容と評価】 安心して子育てができるよう保育施設等の保育サービスの充実を図る。目標値である待機児童数ゼロを維持した。							
b) 放課後児童の健全育成	学童の家利用者の満足度 (%)	目標値	91.0	91.0	91.0	91.0	91.0	91.0
		実績値	92.6	89.3				
	放課後子ども教室利用者の満足度 (%)	目標値	95.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0
		実績値	90.9	93.8				
【取組内容と評価】 児童の健全育成のため、学童の家を開設。目標値はいずれも達成しなかったが、放課後子供教室利用者の満足度は、前年度より向上した。引き続き、保護者のニーズに応えながら運営していく必要がある。								
c) 労働者の福祉の充実	勤労者等対策事業の利用者数 (人)	目標値	15	15	15	15	15	15
		実績値	8	4				
	【取組内容と評価】 労働者の福祉の充実のため、勤労者等対策事業(勤労者生活安定資金、勤労者教育資金、出稼ぎ互助会)を実施。出稼ぎ労働者の減少又は無届による出稼ぎにより、出稼ぎ互助会への加入者が減少した。今後は、出稼ぎ互助会への加入促進のほか、新規高卒者やU・Iターン者の取込みを念頭に、事業者に対する働き方改革やワークライフバランス推進についての働きかけも行う必要がある。							

(2) 郷土を愛し、拓く人づくり戦略

①未来へつなぐひとづくりの推進

K P I	策定時 (H30)	R2実績	進捗度	評価	目標 (R6)
生涯学習環境に対する市民満足度 (10~40代平均) (点)	47.8	50.1	18.9%	C	60.0
高校2年生の宮古市への愛着度 (%)	(R1) 43.0 166/386(人)	(R2) 42.7 141/330(人)	△ 1.8%	D	60.0

評価： A・・・目標達成 B・・・20%以上100%未満 C・・・0%以上20%未満 D・・・0%未満 (マイナス値)

◎関連基本事業に対する評価

地域の特色や魅力を知る機会に関する基本事業								
基本事業	指標名	R元	R2	R3	R4	R5	R6	
a) 豊かな心を育む教育の推進	読書率 (小学校) (%)	目標値	69.0	69.0	69.0	69.0	69.0	
		実績値	69.0	77.0				
	読書率 (中学校) (%)	目標値	59.0	59.0	59.0	59.0	59.0	
		実績値	55.0	59.0				
	児童生徒の自尊意識・規範意識調査結果 (全国学力・学習状況調査) 小学校 (%)	目標値	88.1	88.1	88.1	88.1	88.1	
		実績値	83.4	-				
	児童生徒の自尊意識・規範意識調査結果 (全国学力・学習状況調査) 中学校 (%)	目標値	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0	
		実績値	78.3	-				
	【取組内容と評価】 読書環境の整備のため、学校図書館支援員を配置。地域の伝統や歴史、災害、国際、姉妹都市等との交流学習など、ふるさと宮古に誇りを持てるような学習を実施。読書率は目標値を達成。特に小学校においては、大きく上回る結果となった。子ども達のまちへの愛着度を高めるため、地域に関する学習は必要不可欠であることから、引き続き取り組みを進める必要がある。							
	b) 教育環境の充実	コミュニティ・スクール設置率 (%)	目標値	0	50	75	100	100
			実績値	0	0			
		【取組内容と評価】 学校が地域や子どもの実情に応じて主体的に創意工夫のある教育活動が展開できるよう、学校評議員制度から学校運営協議会(コミュニティスクール)制度への移行の準備を進めた。現在、仕組みづくり等の準備が進行していることから、目標値達成に向け、保護者や地域住民を巻き込み、継続して取り組むことが必要。						
c) 地域農産物の消費拡大	農業体験の参加者数 (人)	目標値	90	90	90	90	90	
		実績値	77	47				
	学校給食食材供給割合 (%)	目標値	30.0	40.0	45.0	50.0	50.0	
		実績値	38.3	33.9				
	【取組内容と評価】 児童生徒への地域農産物に対する意識啓発と学校給食での宮古市産農林水産物の利用拡大のため、農業体験や学校給食食材への農産物供給を行っている。コロナ禍の影響により、イベント中止や参加者数の制限を行ったため、農業体験の参加者数は目標値に達しなかった。また、学校給食への食材供給割合も納入要件と供給量の兼ね合いにより減少している。							

生涯学習推進体制に関する基本事業

基本事業	指標名	R元	R2	R3	R4	R5	R6		
a) 推進体制の充実	リーダーバンク 及び生涯学習ボ ランティア登録 者数（人）	目標値	320	181	183	185	187	189	
		実績値	177	178					
	リーダーバンク 及び生涯学習ボ ランティア登録 者の派遣延べ人 数	目標値	1600	406	414	422	430	439	
		実績値	368	258					
【取組内容と評価】 経験や知識を有する指導者をリーダーバンクに登録し、派遣や紹介を実施。バンク登録者は微増したものの、コロナ禍の影響で自主的に学ぶ市民グループ等からの派遣要請が減少したことが要因と思われる。今後も登録者の増加に向けて取り組むと共に、市民の学習活動等の支援のため、ボランティア派遣についてSNS等によるPRも行う必要がある。									
b) 学校・家庭・地域の連携と協働	コミュニティス クールにおける 地域学校協働活 動導入数	目標値	-	3	6	11	11	11	
		実績値	-	0					
	【取組内容と評価】 コミュニティスクールの円滑な運営に資する地域学校協働活動推進員の活動により、幅広い地域住民や地域の多様な団体等の参画を通じた地域学校協働活動を推進した。 目標値達成に向け、コミュニティスクールの運営を支える地域学校協働活動の実施校を増やし、学校を核とした地域づくりを推進し、児童生徒の学びや成長を支えることが必要。								
	c) スポーツ環境の整備	体育施設等利用 者数（人）	目標値	404,000	461,000	455,000	448,000	442,000	435,000
実績値			345,303	250,013					
【取組内容と評価】 計画的な施設の改修や小中学校の体育館等の開放を実施。また、新しいスポーツへの対応を推進。コロナ禍の影響により、利用者が目標値を下回った。施設の改修については、引き続き計画に基づいて実施する。									
d) 活動機会の提供		各種大会等参加 者数（人）	目標値	6,608	8,200	8,100	7,900	7,800	7,700
	実績値		6,608	659					
	【取組内容と評価】 オリンピック・パラリンピックを契機としたスポーツ関連イベントの支援体制の構築に取り組むと共に、各種スポーツ教室の充実など、活動機会の提供を実施。コロナ禍により各種大会やイベントの延期など十分な事業展開ができなかった。今後は、各種イベント開催のほか、スポーツによる交流人口拡大に向けてスポーツ合宿の誘致などの取組も必要である。								

## 基本目標：【しごと】

地域に根ざした産業を振興し、生活を支える所得が得られる仕事を創出する

### 基本目標に対する評価

数値目標	策定時 (H30)	R2実績	進捗度	評価	目標 (R6)
市民一人当たりの分配所得 (万円)	(H29) 市 277	(H30) 市 274	△ 9.2%	D	国民所得
	県 277	県 284			
	国 319	国 320			
	国の値に 対する比率 0.868	国の値に 対する比率 0.856			
高校新卒者のうち就職希望者の管内就職率(%)	44.0 93/210(人)	48.9 86/176(人)	18.8%	C	70

評価： A・・・目標達成 B・・・20%以上100%未満 C・・・0%以上20%未満 D・・・0%未満 (マイナス値)

### 分析

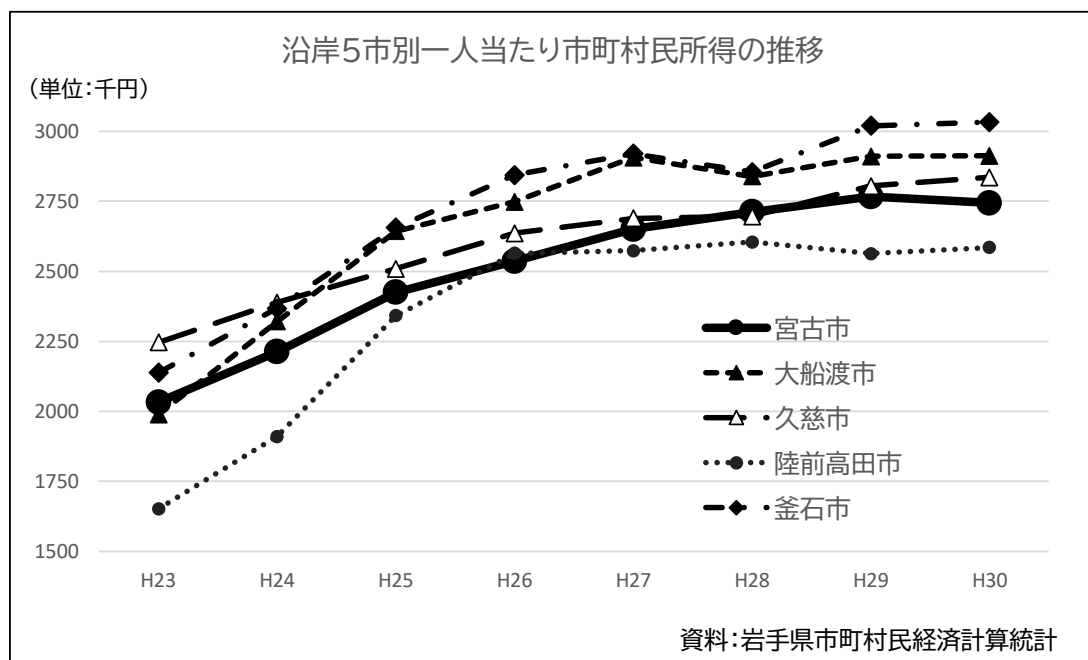
「市民一人当たりの分配所得」は、わずかに減少した。復興関連事業の減少のほか、市基幹産業を支える水産資源の減少なども影響したものと考えられる。地域産業全体では、今後もコロナ禍による多大な影響を受けることが予想される。水産業関係者の所得向上には、安定した水産資源の確保が必要である。現在、新たな魚類養殖の取り組みなどが進められており、持続的な水産資源の確保が期待される。

また、「高校新卒者のうち就職希望者の管内就職率」は、上昇した。その一方で、コロナ禍の影響により企業の求人数が減少し、「宮古公共職業安定所における就職率」は下降した。これらの実績から分析すると、コロナ禍の影響により高校生に県外や市外への就職を控える傾向があったことと、これまで地元企業に対し高校新卒求人の確保を働きかけてきた結果、コロナ禍においても安定した求人確保できたことが要因と推察される。

「一次産業新規就業者」は、いずれの分野においても増加した。特に水産業の増加が大きい。更なる担い手の確保を目指し、移住施策と連携したPRなど、多方面への周知が必要である。

#### 【市民推進委員会からの意見】

・水産業について新たな戦略が必要ではないか。



沿岸市町村別一人当たり市町村民所得の推移

(単位:千円)

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
宮古市	2,033	2,213	2,425	2,536	2,651	2,712	2,767	2,744
大船渡市	1,989	2,321	2,643	2,748	2,906	2,839	2,911	2,913
久慈市	2,246	2,389	2,509	2,636	2,689	2,696	2,805	2,836
陸前高田市	1,652	1,910	2,342	2,564	2,574	2,605	2,563	2,585
釜石市	2,138	2,368	2,656	2,844	2,920	2,854	3,020	3,033
住田町	2,062	2,163	2,276	2,278	2,383	2,543	2,680	2,703
大槌町	1,278	1,508	1,912	2,333	2,541	2,593	2,726	2,858
山田町	1,380	1,640	1,974	2,208	2,510	2,619	2,569	2,523
岩泉町	1,838	2,072	2,236	2,316	2,347	2,353	2,494	2,596
田野畑村	1,984	2,066	2,496	2,430	2,718	2,569	2,697	3,033
普代村	2,110	2,447	2,288	2,350	2,545	2,862	3,106	3,143
野田村	1,930	2,167	2,424	2,512	2,725	2,696	2,859	2,764
洋野町	1,958	2,176	2,250	2,311	2,374	2,420	2,548	2,576

資料:岩手県市町村民経済計算統計

(1) 本州最東端から国内外に向けた産業振興戦略

①強い水産業の推進

KPI	策定時 (H30)	R2実績	進捗度	評価	目標 (R6)
魚市場水揚額 (年間) (百万円)	6,452	4,888	△ 81.1%	D	8,380
魚市場水揚量 (年間) (t)	23,540	21,683	△ 11.9%	D	39,100
1 経営体あたりの漁業生産額 (百万円)	7.9 5,469/696体	(次回は、 R6年度に公表)	-	現時点で 評価困難	8.7 6,071/696体

評価: A・・・目標達成 B・・・20%以上100%未満 C・・・0%以上20%未満 D・・・0%未満 (マックス値)

◎関連基本事業に対する評価

水産業に関する基本事業									
基本事業	自己評価	指標名	R元	R2	R3	R4	R5	R6	
a) 生産の拡大		魚市場水揚量 (t)	目標値	26,133	28,726	31,319	33,912	36,505	39,100
			実績値	18,973	21,683				
		養殖漁業生産量 (t)	目標値	10,091	10,209	10,327	10,445	10,563	10,683
			実績値	9,348	8,112				
【取組内容と評価】 「つくり育てる漁業」の中心となる沿岸漁業の振興のため、養殖漁業の安定生産や前浜資源の維持増大の取り組みを支援。不漁のため目標水揚量は達成できなかった。また、養殖漁業生産量についても、一定量は確保できたが目標値には届かなかった。									
b) 経営基盤の強化		漁協組合員 (人)	目標値	2,073	2,073	2,073	2,073	2,073	2,073
			実績値	2,041	2,002				
【取組内容と評価】 漁業経営体の経営基盤を強化するため、関係機関と連携して利子補給等を実施。依然として、漁協組合員は減少傾向にあることから、担い手育成と併せ、経営体への継続的な支援が必要。									

c) 担い手の確保・育成（水産業）	宮古市漁業担 い手確保対策 事業補助金就 漁計画認定者 数	目標値	6	6	6	6	6	30
		実績値	2	5				
		【取組内容と評価】 担い手確保のため、新規就業者への助成等を実施。認定者数は増加したものの、目標には達していない。市のHP等を利用し、支援制度のPRなどに力を入れる必要がある。						
d) 流通加工体制の整備	魚市場水揚額 （千円）	目標値	5,112,000	5,765,600	6,419,200	7,072,800	7,726,400	8,380,000
		実績値	4,970,774	4,887,711				
		【取組内容と評価】 宮古市魚市場の経営安定化と水揚量の増大のため、廻来船誘致活動やブランド戦略の支援などを実施。海洋状況の変化等の要因により不漁のため目標水揚額は達成できなかった。						

②異業種連携による売れる商品づくりの推進

KPI	策定時（H30）	R2実績	進捗度	評価	目標（R6）
製造業総生産額（年間）（百万円）	18,900	18,000	△ 81.8%	D	20,000
市が支援する商品等の新規成約件数（年間）（件）	4	コロナ禍により実施なし	-	現時点で評価困難	5

評価： A・・・目標達成 B・・・20%以上100%未満 C・・・0%以上20%未満 D・・・0%未満（マイナス値）

◎関連基本事業に対する評価

製造業に関する基本事業							
基本事業	指標名	R元	R2	R3	R4	R5	R6
a) モノづくりの環境整備	従業員一人当たりの現金給与総額（万円）	目標値	279	323	323	323	323
		実績値	316	318			
	セミナー、研修等への参加者数（人）	目標値	300	110	110	110	110
		実績値	213	63			
【取組内容と評価】 技術力強化のため、関係機関と協力し、人材育成を目的としたセミナー等を開催予定であった。コロナ禍の影響により、予定していたセミナー等が中止となり参加者数が減少した。							
b) 企業立地の推進	工場等の新設・増設等件数（件）	目標値	5	1	1	1	5
		実績値	4	0			
	工場等の新設増設による従業員数（人）	目標値	36	5	5	5	5
		実績値	24	0			
【取組内容と評価】 既存企業の増設及び新規企業の誘致活動を実施。R2年度はコロナ禍の影響により誘致活動に制限があったことから、実績はなかった。							

販路拡大に関する基本事業

基本事業	指標名	R元	R2	R3	R4	R5	R6	
a) 産業支援体制の充実	相談等の件数 (件)	目標値	—	660	660	660	660	
		実績値	616	338				
	セミナー・研修 等参加者数 (人)	目標値	200	160	160	160	160	
		実績値	213	63				
	【取組内容と評価】 人材育成や製品開発等、事業者支援のため、各種研修等を実施するとともに、事業者の相談体制を構築。R2年度はコロナ禍の影響によりセミナー等が中止。また一時的に相談件数が減少したものの、R2年度の途中からR3年度にかけて、コロナ禍における相談が急増している。							
	b) 食産業の支援	展示商談会等に 出展した事業者 数(件)	目標値	50	75	75	75	75
実績値			60	16				
商品等の新規成 約件数(件)		目標値	—	5	5	5	5	
		実績値	7	—				
【取組内容と評価】 展示商談会への出展支援やコンクールの実施による新商品の開発支援を実施。R2年度は、コロナ禍の影響により多くの展示商談会への出展が中止。コンクールの実施も取りやめた。								

(2) すべての人が活躍できる産業戦略

①地域の特色を活かし稼げる産業の実現

KPI	策定時 (H30)	R2実績	進捗度	評価	目標 (R6)
従業者1人当たりの売上金額 (百万円)	(H28) 15.3 91,165/5,965人	(次回は、 R5年度に公表)	—	現時点で 評価困難	16.2
再生可能エネルギー導入容量 (年間) (kw)	22,616	79,032	25.5%	B	244,000

評価： A・・・目標達成 B・・・20%以上100%未満 C・・・0%以上20%未満 D・・・0%未満 (マイナス値)

◎関連基本事業に対する評価

稼げる産業に関する基本事業							
基本事業	指標名	R元	R2	R3	R4	R5	R6
a) モノづくりの環境整備【再掲】	従業者一人当たりの現金給与総額 (万円)	目標値	279	323	323	323	323
		実績値	316	318			
	セミナー、研修等への参加者数 (人)	目標値	300	110	110	110	110
		実績値	213	63			
【取組内容と評価】 技術力強化のため、関係機関と協力し、人材育成を目的としたセミナー等を開催予定であった。コロナ禍の影響により、予定していたセミナー等が中止となり参加者数が減少した。							
b) 企業立地の推進【再掲】	工場等の新設・増設等件数 (件)	目標値	5	1	1	1	5
		実績値	4	0			
	工場等の新設増設による従業者数 (人)	目標値	36	5	5	5	25
		実績値	24	0			
【取組内容と評価】 既存企業の増設及び新規企業の誘致活動を実施。R2年度はコロナ禍の影響により誘致活動に制限があったことから、実績はなかった。							
c) 産業支援体制の充実【再掲】	相談等の件数 (件)	目標値	—	660	660	660	660
		実績値	616	338			
	セミナー・研修等参加者数 (人)	目標値	200	160	160	160	160
		実績値	213	63			
【取組内容と評価】 人材育成や製品開発等、事業者支援のため、各種研修等を実施するとともに、事業者の相談体制を構築。R2年度はコロナ禍の影響によりセミナー等が中止。また一時的に相談件数が減少したものの、R2年度の途中からR3年度にかけて、コロナ禍における相談が急増している。							
d) 再生可能エネルギーの導入促進	再生可能エネルギー導入容量 (kw)	目標値	45,000	82,000	82,000	82,000	244,000
		実績値	46,855	79,032			
	住宅用太陽光発電システム導入件数 (件)	目標値	1,100	1,140	1,180	1,220	1,260
		実績値	1,132	1,162			
【取組内容と評価】 多様な再生可能エネルギーの導入促進に地域主体となって取り組むためエネルギービジョンを策定するなどの環境整備を実施。R2年度は、民間による大規模太陽光発電施設の設置などにより導入容量は増加したものの、目標値に対し96.4%と僅かに下回った。今後は、住宅用太陽光発電システムの導入促進事業を改善するなど、再生可能エネルギーの導入拡大が必要。							



②人材の確保・育成支援

K P I	策定時 (H30)	R2実績	進捗度	評価	目標 (R6)
一次産業新規就業者 (累計) (人)	8	18	19.2%	C	60
	【内訳】				
	(農業) 2	4	15.4%		
	(林業) 1	3	14.3%		
	(水産業) 5	11	24.0%		30
宮古公共職業安定所における就職率 (年間) (%)	51.1 2,183/4,275件	45.5 1,694/3,727件	△ 62.9%	D	60.0
就業者数 (雇用保険被保険者数) (年間) (人)	18,622	18,074	△ 96.0%	D	18,600

評価： A・・・目標達成 B・・・20%以上100%未満 C・・・0%以上20%未満 D・・・0%未満 (マイナス値)

◎関連基本事業に対する評価

人材の確保・育成支援に関する基本事業								
基本事業	指標名	R元	R2	R3	R4	R5	R6	
a) 担い手の確保・育成 (農業)	認定農業者数 (人)	目標値	65	70	80	85	90	92
		実績値	65	53				
	新規就農者数: 単年 (人)	目標値	2	2	3	3	3	3
		実績値	2	1				
	新規就農者数: 累計 (人)	目標値	27	29	32	35	38	43
		実績値	27	28				
【取組内容と評価】 農業の担い手確保のため、新規就農者に対する助成等の支援を実施。新規就農についての相談は年10件程度あるが就農に結び付くのは1~2件である。今後は、市のHP等による支援制度の周知の工夫と魅力ある職業としての農業のPRをする必要がある。								
a) 担い手の確保・育成 (林業)	林業新規就業者 数 (人)	目標値	3	3	3	3	3	3
		実績値	1	1				
	【取組内容と評価】 林業の担い手確保のため、新規就業者に対する助成等の支援を実施。目標値を達成していないことから、今後は、市のHP等による支援制度の周知の工夫と魅力ある職業としての林業のPRをする必要がある。							
a) 担い手の確保・育成 (水産業) 【再掲】	宮古市漁業担い 手確保対策事業 補助金修漁計画 認定者数	目標値	6	6	6	6	6	30
		実績値	2	5				
	【取組内容と評価】 担い手確保のため、新規就業者への助成等を実施。認定者数は増加したものの、目標には達していない。市のHP等を利用し、支援制度のPRなどに力を入れる必要がある。							
b) 経営基盤の強化	経営指導件数 (件)	目標値	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000
		実績値	4,606	4,927				
	【取組内容と評価】 事業者の経営の安定・強化のため、関係機関と連携し、融資制度や経営に対する指導・相談の充実を図る。経営指導の相談件数は目標値を達成した。							

c) 雇用の促進【再掲】	補助金・奨励金 交付対象者数 (人)	目標値	80	80	80	80	80	80	
		実績値	66	63					
	事業委託先にお ける利用者数 (人)	目標値	550	550	550	550	550	550	
		実績値	554	456					
【取組内容と評価】 地元での安定的な就業を促進するため補助金・奨励金を交付。宮古職業訓練協会と宮古市シルバー人材センターを支援。目標値はいずれも達成しなかったことから、ニーズに応じたサービス内容等の充実や周知が必要と思われる。今後は、新規高卒者の地元就職やU・Iターン者の増加への取り組みも必要。									
d) 労働者の福祉の充実【再掲】	勤労者等対策 事業の利用者 数(人)	目標値	15	15	15	15	15	15	
		実績値	8	4					
	【取組内容と評価】 労働者の福祉の充実のため、勤労者等対策事業(勤労者生活安定資金、勤労者教育資金、出稼ぎ互助会)を実施。出稼ぎ労働者の減少又は無届による出稼ぎにより、出稼ぎ互助会への加入者が減少した。今後は、出稼ぎ互助会への加入促進のほか、新規高卒者やU・Iターン者の取込みを念頭に、事業者に対する働き方改革やワークライフバランス推進についての働きかけも行う必要がある。								
e) 企業立地の推進【再掲】	工場等の新設・ 増設等件数 (件)	目標値	5	1	1	1	1	5	
		実績値	4	0					
	工場等の新設増 設による従業員 数(人)	目標値	36	5	5	5	5	25	
		実績値	24	0					
【取組内容と評価】 既存企業の増設及び新規企業の誘致活動を実施。R2年度はコロナ禍の影響により誘致活動に制限があったことから、実績はなかった。									